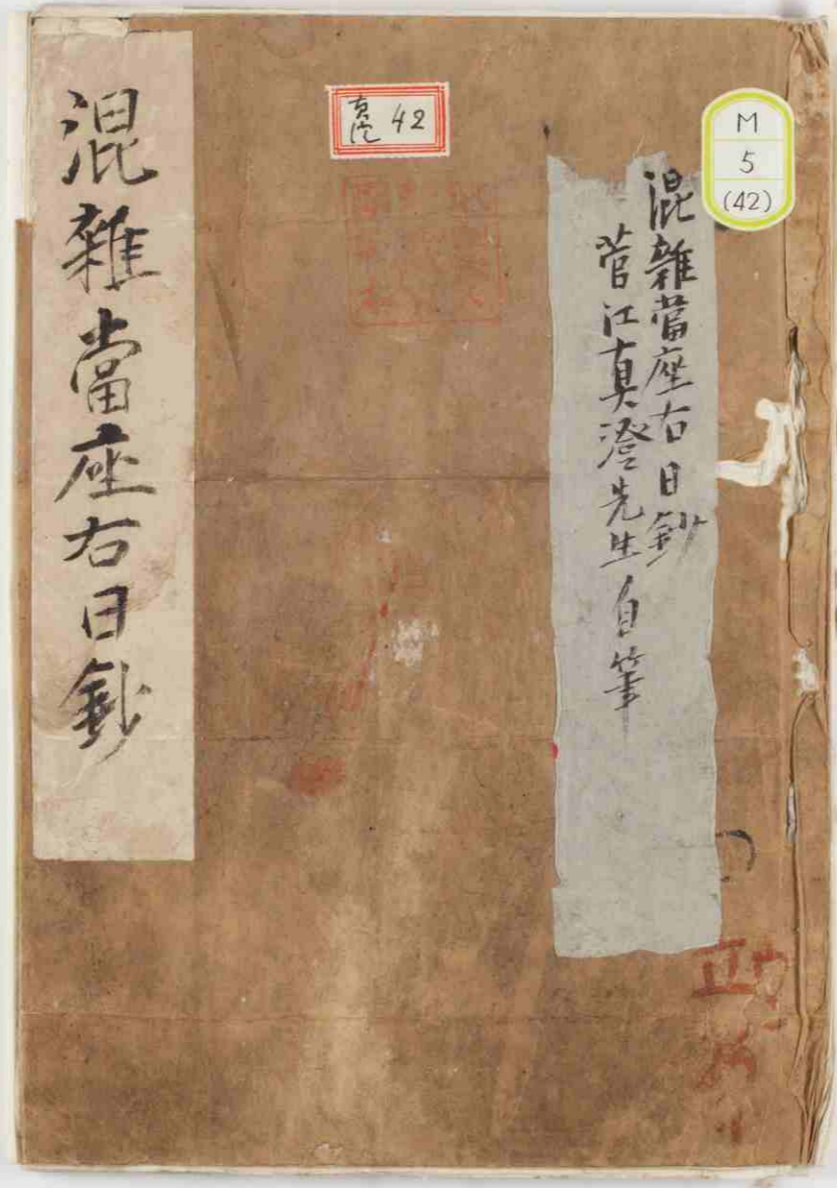


以下 破損

以下 虫食い

以下 汚れあり



混雑當座右日鈔

巻42

M
5
(42)

混雑當座右日鈔
菅江真澄先生自筆

蔵書印

西

裏文字あり

做道様御面立追慕

寄夢懷舊

三月廿四日

雄勝郡湯澤庄小野里
平鹿郡仙谷庄三増里

宗良親王御内閣 康暦三年
御多々御寄書 云々

深卷正茶
員正茶

和道家 鶴西太刀
豊後行かうとて

川口曲肱菴 梅津忠高之別邸之
記作者 有享丁日 適亭

佃美長利
字子石

高堂 垣三郎子 舟田一馬
苗代の橋
石段の橋
のふあ池
のふあ池

手形 押園林宗
押園林藏
論語合讀

福田清都 伊勢國荒牧村首陀

博桑名賢文集 之藤代京鑄

送木村信甫歸羽州序 伊藤維楨
古稱用志不分乃疑我神信翁
木村信甫 遊學京師有年
矣矣云々

深草三光

のふり木ノ山

竹下万雅寺山ノ所 松澤翁傳者
後見先生ののふり
本丸岡之座ののふり

米田友齋之墓 石面
享年甲申歲
初寛之享年己巳六月廿七日生
廣永五年戊子三月廿三終

竹下万雅寺山ノ所 松澤翁傳者
後見先生ののふり
本丸岡之座ののふり

琴嵐在底 古今凡林一表也

寛文十二子唐初夏中陸書之

之程官仲林下自写之 氣吐印官角海討篇

大正良山
天保寺末
寶徳山万福寺
高顯山長泉寺

巨魁
首領

魁首
張本
心局

神田社

松杜
中親南丹根
同造大呂貫
合事代全
津邑川元 親部

○新坂内山源 十二里ぶの北ハ幡林と

○山崎山 矢立杉 花吹雪のあり
黒川 鏡 後取坂 烏帽子森 小又子
目連柳森 石巻

三川館 水取石多坂
○八重火白
中心まじり
女名中橋

三代まじり 榎樟 色香 榎樟

琴ノ嵐在底 古今凡林一巻也

寛文十二年唐初夏中陸書之

之程官仲任下由官之 氣比印官角海計局

大子良山
天徳寺末
寶徳山万福寺
高顯山長泉寺

大ノ陸ノハ陽 穂局

神田社

松杜 中親南丹根茶
同造大呂身命
合と東代生命
津巻川元 親部

十二日の北ハ幡林と
少ノ松取子の松

黒川 領 烏帽子森 小又子
同連御森 石名松

玉川館 石名松
カサ 本石名松
石名松
八重木白
中心木

三代木ノ 榎 榎 榎

Journal of the Chinese in Canton

Handwritten notes in English script, likely describing local customs or observations.

Handwritten notes in Chinese characters, possibly a translation or commentary.

寶珠山石寺 在最上中野 天台 寺鎮于石

開基 慈覺大師 本堂 樂師 寺舍十二坊

堂塔多寶物數多 堂後有清泉即大師所修出 冊上有真記

Vertical handwritten notes in Chinese characters, providing further details or a list.

Fragment of handwritten text from the reverse side of the page.

下多あり
何れもその由
いふあり
石川地蔵
石川地蔵

石川地蔵
いふあり
石川地蔵
いふあり

○保戸野愛宕社

十川九吉門 九戸

天正頃當國大守安藤河内守實季公と中大禮那
おとと忍敵退散兵乱鎮護美民在坊の方土崎藩子
勅諭くそりしに在り慶長六年之實季公陸奥奉
遷り館後保戸加之遷宮之算於仁大所作
新設在軍川村り空寶寺史相大後陸奥
今宮常蓮院充民位印由理郡道川村より為國
頭中頭愛宕山室寶寺催促を如の地を奉り
常蓮院空當國へ下世外人奉りし十室寶寺
先にも作り常蓮院公館二本持世一本鏡
空寶寺の作りし之慶長七年十月九日
三ヶ年漢室寶寺の常蓮院改作中禮那

折三願 十一三

山崎

山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎

山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎

和漢三才圖會卷第十五地部陸奥國條

護国山示現寺 在大宰寺之北

禪宗 廣真寺 音同水

本尊千手觀音 當基 初弘法大師開基 名五峯山慈眼寺云

文化五年壬午五月中旬の事あり 米津郡

其頭錫を冠りしりし事あり 米津郡

君と陸上しし錫を冠りしりし事あり 米津郡

と云ふ事あり 米津郡

二音あり事あり 米津郡

この道地より正實寺あり 米津郡

九三と云ふ事あり 米津郡

折三願寺三修

延宝六年八月十一日
大秋家全加推定
八月十一日
乙卯年

六寸餘尺と

厚五寸

美因

今宮之承皆

天和元年幸西

三浦院宮中供者よりしり神尾彦兵衛

其作

鈴木十左衛門守のめ出され 後今之南郎

長土屋下の子存

出好村の郡界上白岩郷

慈因寺修験最上院

後唐涅槃堂開基。西天竺涅槃堂

僧正ノ遺物 風凰の尾羽

一尾 二尺四五寸幅三寸

四五分本細の末唐之色

七葉の如し如く光澤あり星

ありてし 片お七ツ両羽あり

白玉光ある 羽草太

太キ筆管の

三寸五分

白河種

種

種

種

種

種

種

種

種

種

種

石五峯山慈眼寺云

米郡

てて

てて

てて

てて

てて

てて

糖山後人批

山形郡下岩川町
梵壇山

五山あり天台こ

○鬼首山岩川寺

十樂院

梵壇より遠く

○常盤山揚館寺

蓮子
葉作

○他羅陀山

大石山

長崎

田原

宮前川戸川

下岩川
女山子
攝待

谷地
新田

Handwritten notes in small characters, likely bleed-through or additional entries.

左仙北一書

Handwritten notes in small characters, likely bleed-through or additional entries.

Handwritten notes in small characters, likely bleed-through or additional entries.

仙都社中村の二宗寺の二宗

と云ふ所は年々村政及び近き

ことありて上心南無阿弥陀

ふありて底を後一層とす

赤銅の八景歌

表 千手観音万徳十徳

看属別

玄磨蓮の徳心ふま

崇紀佛師僧大趣具主延曆

僧仁

祐女具主藤原安女子

延
休
柳

延暦二十一年
藤原安女子
祐女具主
藤原安女子
延暦二十一年
藤原安女子
祐女具主
藤原安女子
延暦二十一年
藤原安女子
祐女具主
藤原安女子

延暦二十一年
藤原安女子
祐女具主
藤原安女子
延暦二十一年
藤原安女子
祐女具主
藤原安女子
延暦二十一年
藤原安女子
祐女具主
藤原安女子

韓松山比咩神社

播磨國風記云菽原里土中
有井所以名菽原者息長帶日
吉貝命從韓國還上之時御船
宿於此村云即關御井曰針
間井

雄勝郡上到半打之

云云打

乃乃乃乃

此山由取の身嶋敷古原

山

金作霰村石町

金作霰村石町

平尾山石町

金作霰村石町

立石打

横塚打

立石打

長沖打

立石打

金作霰村石町

〇川石打

石形龍散

石形龍散

舊備太右門

舊備太右門

永倉家記由末

○ 卯子無節節執事の如

秋田藩の備へ

款味多兵船清乱也入寇

三ノ羽の志 勢帝後 經營

院金剛坊火會坊石神改智

賢坊親吉坊の無徒告三

人務長 杉屋常小坊色六

多り中 杉屋王守の船

五ノ不知其の二天の山休

三人 室波の良足の出

掛 東の善成頼由の休美人

且 東の里の甲

諺 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

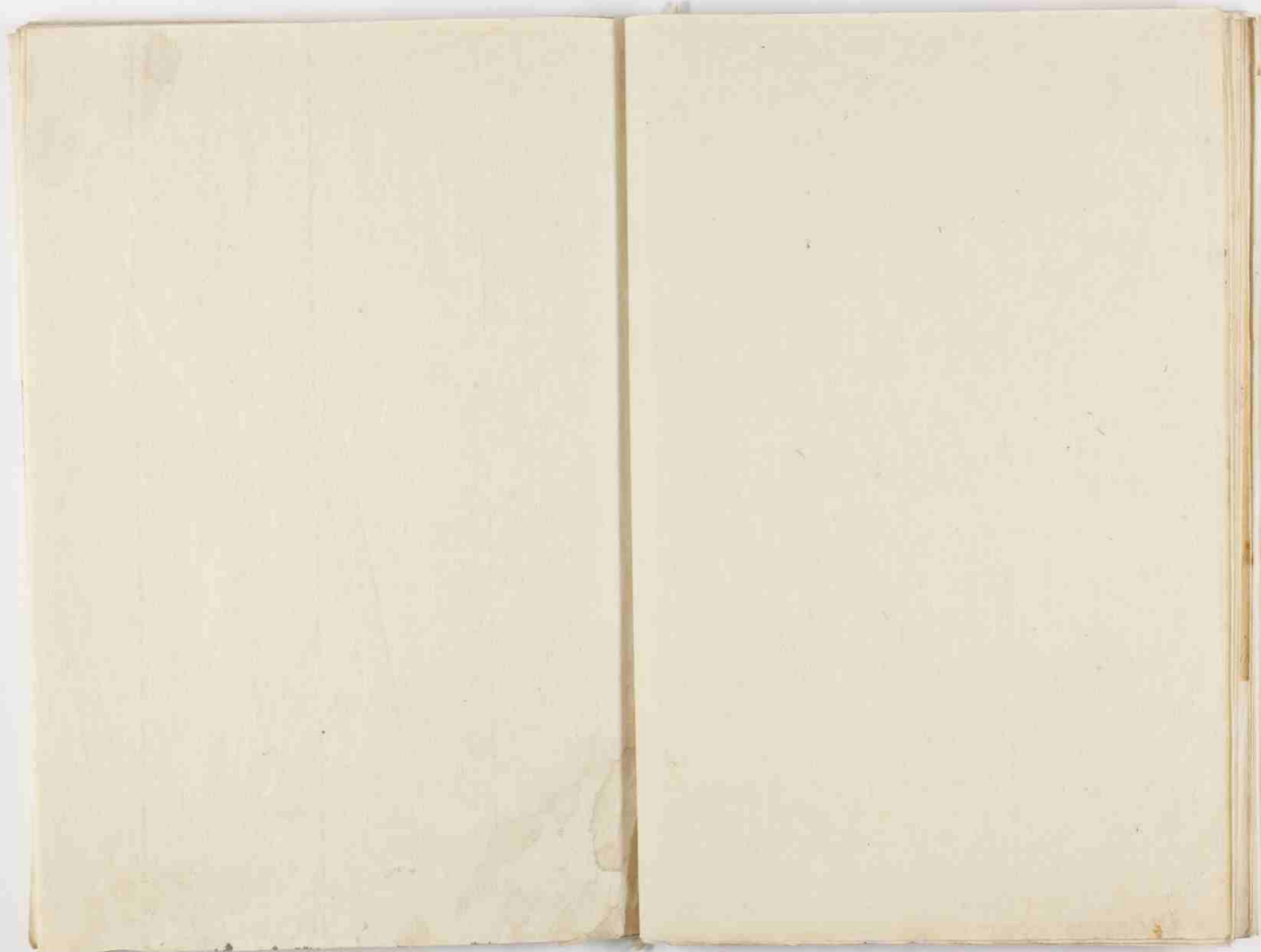
環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

環 中野の針

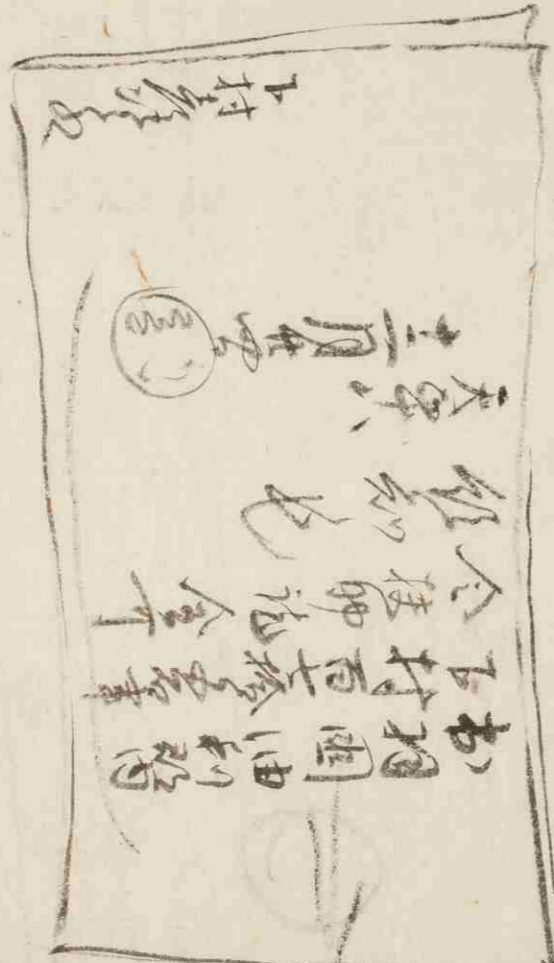
以下 8 ページ白紙



是の如く
中
伊
佐
太
田

方
是
乃

11月24日 大田川



只月高一二
中江下村を有る大田川

今庄に抄別大坂
之箱長右殿致し別
合造別殿ケ有被
成之条年此致信
拾骨之と感念有也

吉長可裕

正月十七日序別

梅津老の尉よへ

梅津老の尉よへ
今代致す

Handwritten notes in a rectangular box, likely bleed-through from the reverse side. The text is written in cursive and includes botanical or medicinal terms.

楳樹 十二重、一楓

伏牛花 へび糸ラズ

萬壽牛 出ウキヤサ

鹿薬 エキサ、

小片麻 アヤシ

牻牛兒 。

扁牛 大

増補
奇人

俳士年表

一瓢先生訂正

文政二年

有録

行義

出初名考四郎
後 常陸権助

弘長三年 御生嘉元三年 御

名考考之申 出初名考

彷彿

彷彿
彷彿

比由系合与

髻

髻

トモ認

鏝

鏝

其以吾客之

かき味

之

流

流

時

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

大峯正光延元
正光延元根土年

山石本

法尊

内山

快辨

寶篋衣院

心備

超昇寺真勝

世茂寺

玄慶

一印

高野寺金大和

松尾寺

杖叢

大和

三福道海大和

高天寺

賢位

大和

高野寺

聖山寺

賢位

大和

高野寺

世六先達 金剛界 曼荼羅 比

當山房

世八

世六禽

先子 木山房

棟札

大峯當山理源大師正嫡東寺檢校藤

當山

座三寶院神門跡法務大僧正高橋

世五

大峯當山三山檢校三井長史根優邊塞

世六

正嫡聖德太子門跡增賞法親聖

Handwritten notes in the left margin

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes, located on the left page of the open book.

芳陽軒

延宝三年乙卯四月八日仁木寺
一品入道性承親王命入贈法

阿澄上人印トス

義重公ヲ五子幻名申若九
又政彦次郎北又七郎義廉
之為子諱義直後改義繼
故了ッテ仁和寺内尊壽院
中興開山明曆二申同四月
八日寂行年四十五歲

三御

日居山東泉寺

馬口芳町北川坊石部寺

月居山の御願

中内正長

才内多子古川

月居大勝正



月居大勝正

車丹波新忠 和國書卷時

昭為三度計

鯉魚貝

木任即舟

平郡 總友村 平向到 通費時



一丈九尺二寸

杉切口

後行有 撰法 行者之 讚 敬孔 德少 金胎 兩山 峰 諸 國果 定慧 思更 秦器 行者 之世 顯現

鳴正吉

徐清

和國書卷時 順 福井丹波 依道 基全 長

○~~花~~

○~~關山~~

○~~御菩薩池~~

○~~睡菜~~

○~~木天蓼~~

○~~紫~~

○~~八咫~~

Handwritten notes in small characters, likely a list of items or locations.

Handwritten notes in small characters.

Handwritten notes in small characters.

Handwritten notes in small characters.

Handwritten notes in small characters.

Handwritten notes in small characters.

Handwritten notes in small characters.

○東海林順泰大明

傷寒論通斷十冊

後辭評

後

古川町東海林民之進

○~~山邊~~ 封の地

○~~現~~ 初

○~~遷~~ 封の地

○~~所~~ 爲

○~~十二~~ 山の

○~~富~~ 知

○~~富~~ 知

○~~富~~ 知

○~~富~~ 知

○~~富~~ 知

是作然らざる人、捨ててさう
して之をまゝに置く、信厚之
るら

○**行目** 大和目柳元とて

少々の春のしるし、中々堅固なる
そのまゝに置く、信厚之るら

○**行目** 大和目柳元とて、
船長ものあの方、大和目柳元とて、
川をさす

○**行目** 大和目柳元とて、
船長ものあの方、大和目柳元とて、
川をさす

○**行目** 大和目柳元とて、
船長ものあの方、大和目柳元とて、
川をさす

○**行目** 大和目柳元とて、
船長ものあの方、大和目柳元とて、
川をさす

富

于時天祿二年甲戌寅仲秋下澣

寶曆年中

仙女

自覺院

大龍院

片園庫足即

伍良

自覺院

三島寺

中田寺

下坂他苗之

天知元保

六百院

四百十院

久保田十八道心

...

雄勝郡

...

...

...

...

開隆十月初七日

正法寺

龜道文賢

...

...

...

...

增田山

...

...

...

...

三島正法

...

...

...

...

靈符妙見大坂

...

...

...

...

至... 卷... 第... 册...



Handwritten text in vertical columns, likely a list or record of items.

Small handwritten text at the bottom of the page, possibly a signature or date.

善名

理石

九

子名

角

夕

丹

名

甘

的

葉

木

此

名

本

甘

羽州秋田縣千代田

羽州秋田縣千代田

Handwritten notes in the right margin of the page.

Main body of handwritten text on the right page, including a signature and various notes.



Handwritten text on the left page, including names like '江村喜兵衛正貞' and '江戶御膳本'.

